

事業概要【Komomag（こもまぐ）情報ハブアプリを活用した地域活性化事業】

申請者	長野県小諸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	292,676千円 (278,676千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	地域資源を十二分に活用して、地域の魅力（ブランド）を確立するとともに、市内外へ訴求する。アプリ1つで、今までバラバラに情報発信をしていた「まち情報」を一括管理することにより、小諸城址・懐古園だけでなく、市内各地の魅力ある観光スポットへの来訪を促す効果が期待される。さらに、まちなか周辺の公共施設をリニューアルし、来訪者を増加させることで、その他の地域資源（観光地・既存店など）の利用も相乗的に増加することが期待される。現在取り組みを実施している駅前公園でのイベントにより、集客効果が発生し、老朽化している建物をリニューアルして個店として活用する主体が増加していることから、当たり前の資源が魅力的な資源であると認識が変わってきている。地域資源に関心の無かった市民も郷土愛が醸成され、観光客や移住者のみならず、市民にとっても魅力ある「住みたい 行きたい 帰ってきたい」地域を形成していくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【ソフト事業経費】 ○まち情報一括管理アプリシステム構築業務 ○事業概要：まち情報を一括管理することにより、市内各地の魅力ある観光スポットへの来訪を促すためのアプリを構築する。 ・システム構築費 7,700千円 運用費ほか 1,300千円 【拠点整備事業経費】 ○子どもから大人まで楽しめる魅力ある動物園整備事業 ○事業概要：動物園と一体となった小諸城址・懐古園への入園者数の増加をはじめ、交流人口の増加やまちの活性化を図るため、動物園施設整備を実施する。子育て・教育環境の向上を進める。 ・施設整備 269,676千円 ※経費内訳はR7年度事業費					交流拠点化に資するデジタルプラットフォームの構築  ■地元協同の座組での検討を通じた地元まちづくり機運醸成による、民間主体でのエリア（公園運営・管理等）組成へ寄与 ■懐古園・旧小諸本陣・大手門・三之門地区（重点地区）の交流拠点化に資するデジタルプラットフォームの構築 重点地区有効利用における取組イメージ デジタルプラットフォームへ組み込む重点地区でのコンテンツ ①管理運営体制構築 ⇒ 周辺事業者、まちのプレーヤー（デジタルプラットフォーム構築検討の座組での発掘も視野）との連携を検討 ②建物の公民連携による再生 ⇒ 事業者公募により実現 ③建物と広場等の連携 ⇒ ハードは事業者公募により実現 運営は①とともにこれから検討 © GeoFindmedias, Inc. [PL21001]	
地域の多様な 主体の参画	地域が持つ小諸でしか味わえない魅力的な観光を効果的に伝え、ブランド力を活かした情報発信を推進するため、こもろ観光局、商工会議所等、地域内での連携を促進する。					KPI	①地域における観光消費額（1人当たり1回の旅行） （+1757円/人）
	こもろ観光局が推進する観光地域づくりの実施内容を、行政が行う観光政策や各種計画に反映させるとともに、学校等とも連携して、若い視点からの意見を参考に、利用者の増加等につなげる。					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	②小諸城址・懐古園の有料入園者数 （+228.2百人）
							③観光地入込数（+9.9万人）
							④若者移住者数（30代以下）（+5,016人）
							⑤交流人口（こもろ観光局目標値）（+30.7万人）